

💰 売上が増えただけでは、日本復活ではない

● 初級レベル

「たくさん売れた！」だけで、本当に豊かになったの？

大きな工場ができました。

仕事が増えました。

周りの会社にも、たくさん注文が来るようになりました。

売上も増えました。

ニュースを見ると、

「工場ができて地域経済が元気になった！」

と言いたくなります。

でも、NIGHT FLIGHT ではここで、もう一度、

「本当に？」

と考えてみます。

🍜 ラーメン屋さんで考えてみよう

たとえば、あるラーメン屋さんがありました。

去年は、

1 杯 800 円で、100 杯売れました。

今年はお客さんが増えて、

1 杯 900 円で、120 杯売れました。

売上は大きく増えました。

店長さんは、

「やった！今年は大もうけだ！」

.....と言いたいところです。

ところが、困ったことが起きていました。

小麦粉が高くなった。

お肉も高くなった。

野菜も高くなった。

電気代もガス代も上がった。

働く人の給料も上げたい。

すると、

売上は増えたのに、手元に残るお金はあまり増えていない

ことがあります。

📊 「売上」と「もうけ」は違う

ここは、とても大切です。

1000 円の商品を売ったからといって、

1000 円全部がもうけ

ではありません。

商品を作るためには、お金がかかります。

材料を買います。

部品を買います。

電気を使います。

商品を運びます。

働く人も必要です。

つまり、

たくさん売れた = たくさんもうかった

とは限らないのです。



工場の周りの会社でも同じことが起きる

今度は半導体工場を考えてみましょう。

大きな半導体工場ができました。

すると近くの会社に、

「この部品を 1 万個作ってください」

という注文が来ました。

町工場の社長さんは大喜びです。

売上は増えます。

でも——。

部品を作る金属の値段が上がった。

電気代も上がった。

運送代も上がった。

新しい機械も必要になった。

人を増やすので給料も必要になった。

すると、

仕事は増えた。

売上も増えた。

でも、

「あれ？ 思ったほどお金が残らないぞ」

ということが起こります。



でました。「粗利」

そこで登場するのが、

粗利（あらり）

です。

名前は難しそうですが、初級編では簡単に考えましょう。

1000 円で商品を売りました。

その商品を用意するために 600 円かかりました。

すると、

1000 円 - 600 円 = 400 円

まず、この 400 円が残ります。

これが「粗利」を考える入口です。

ただし、この 400 円も全部が最後のもうけではありません。

ここから、いろいろな費用を払わなければならないからです。

だから、

売上よりも「ちゃんと残るお金があるかな？」を見る。

これが大切になります。



お金が残らないと、給料も上げにくい

会社に十分なお金が残らなかったら、どうなるでしょう。

社員の給料を上げたい。

でも上げられない。

新しい機械を買いたい。

でも買えない。

若い人を採用したい。

でも難しい。

工場を広げたい。

でもできない。

つまり、

仕事は増えたのに、その次へ進めない

ということが起こります。

これでは、お金の流れが途中で止まってしまいます。



反対に、きちんとお金が残ったら？

今度は、会社が適正な値段で仕事を受けられたとします。

材料代などを払っても、きちんとお金が残りました。

すると、

社員の給料を上げる。

↓

新しい人を雇う。

↓

新しい機械を買う。

↓

もっと仕事を受けられる。

ことができます。

社員の給料が増えれば、

スーパーで買い物をする。

外食する。

旅行へ行く。

家や車を買う。

すると今度は、町のお店にもお金が流れます。

工場のお金が、少しずつ地域全体へ広がっていく。

ここまで来ると、「地域が豊かになる」という言葉に中身が出てきます。

💧 お金の血流を見てみよう

NIGHT FLIGHT では、これを**お金の血流**として考えます。

大企業が工場をつくる

↓

中小企業へ仕事に来る

↓

中小企業にちゃんとお金が残る

↓

給料が上がる

↓

町で買い物をする

↓

町のお店にもお金が入る

↓

また新しい仕事や投資が生まれる

大切なのは、

最初の工場だけを見るのではなく、そのお金がどこまで届いたかを見ること。
です。

🍰 大きなケーキだけを見ない

巨大な工場ができると、

「1兆円の投資！」

という大きな数字がニュースになります。

これは大きなケーキが一つできたようなものです。

でも大切なのは、

そのケーキが周りにも分けられたのか。

そしてもっと大切なのは、

ケーキを受け取った会社が、次のケーキを作れるようになったのか。

です。

一度お金を受け取って終わりではなく、

次の仕事を生み出せる力になったか。

ここまで見てみましょう。

初級レベルのポイント

工場ができた。

仕事が増えた。

売上が増えた。

それだけでは、

「地域が豊かになった」

とは、まだ言い切れません。

大切なのは、その次です。

会社にちゃんとお金が残った？

社員の給料は上がった？

新しい人を雇えた？

新しい機械を買えた？

町のお店までお金が流れた？

そして、

また次の投資が始まった？

ここまで回り始めれば、

「工場ができた」から「地域が豊かになる」へ

一歩進んだと言えそうです。

そして次の「？」へ

ここで、また疑問が出てきます。

会社にちゃんとお金を残すには、

商品をいくらで売ればいいのでしょうか？

材料が高くなった。

電気代も上がった。

給料も上げたい。

それなのに昔と同じ値段で売り続けたら、会社は苦しくなります。

そこで次に登場するのが――

「値上げは、本当に悪いことなの？」

という新しい「？」です。

ここから、

適正価格 → 粗利 → 給料 → 消費 → 次の投資

という、日本復活を考える大切な航路へ入っていきます。

 寄り道研究所

NIGHT FLIGHT SPECIAL II 【国内編】

● 初級レベル解説でした。

もう少し詳しく、売上・粗利・利益・価格転嫁がなぜ大切なのかを知りたい方は、

● 中級レベルへ。

 次の寄り道へ、ご搭乗ください。